

令和5年度



3月  学校だより

防府市立右田中学校

TEL 0835-22-0984

139名の旅立ち（卒業式）

3月8日（金）に第77回卒業証書授与式が行われました。
139名の卒業生が右田中学校から巣立っていきました。

【校長式辞】

いまここに卒業証書を授与された139名の皆さんは、中学校3年間の課程を修了したと同時に、9年間の義務教育も終了したことになります。今日の卒業という喜びは、皆さんの努力によって得られたことはもちろんですが、ご家族の深い愛情、地域の皆様方、友だちや先生方など多くの人たちの励ましや支えがあったからだと思います。その感謝の気持ちを大切にしてください。



令和2年、3年、4年はコロナ禍でいろいろなことが制約され、なかなか自由な活動ができなかった大変な年でした。しかし、令和5年は、ほぼ制約がなくなり、コロナ禍ではできなかった活動もできるようになり、生徒のみなさんの明るい笑顔や楽しそうな声が学校のあちらこちらで、聞こえるようになりました。行事等がコロナ禍以前のようにできるようになったことにありがたさを感じた人も多かったのではないのでしょうか。

特に3年生になった皆さんは、最上級生としての自覚を持ち続け、学校教育目標である自主・自立を意識して、下級生のお手本となるよう学校生活を送ってくれました。このことは、よき伝統を後輩たちにつないでいこうとする姿であり、心から感謝しています。卒業生の皆さん、ありがとうございました。

さて、そんな皆さんも4月からは、自らが選択した進路先での新しい生活が待っています。既に自分の将来の目標を見定めている人、高校に進学して自分の進む道を探そうとしている人と様々だと思います。中学校を卒業すれば、大人として自覚しながら生きていくことが必要になります。大人として生きていくことについて考えるうえで、参考になる書物があります。幕末に活躍した志士の一人、橋本左内がみなさんと同じ15歳で著わしたという「啓発録」です。これには、大人として生きていくに当たっての決意が、次の五つの項目にわたってつづられています。

その一つ目が、私がよくみなさんに言っている「稚心を去る」。親の庇護のもとで甘える幼い子どものような心を捨て去ることです。二つ目は、「振気」。人に負けないという気持ちで、心を奮い立たせることです。三つ目が「立志」。自分が進んでいく道に向けて、心を定めることです。四つ目が「勉学」。立派な先人の後ろ姿に学んで、勉め励むことです。そして五つ目が「交友を択ぶ（えらぶ）」です。お互いを高め合うことができる、真の友人を見いだすことです。

甘えを捨てて心を奮い立たせ、自分の進むべき道に向かって一心に努力する。さらには自分を磨いてくれる友人との付き合いを大切にする。ということが、「稚心を去る」「振気」「立志」「勉学」「交遊を択ぶ（えらぶ）」という言葉で表されています。「今まさに中学校を卒業して大人になる」という節目を迎えている卒業生のみなさんには、タイムリ

一な考え方ですが、みなさんが生涯にわたって人間的な成長を遂げていくためには、いくつになっても変わらず心がけるべきことともいえると思います。

この五つのうち、一つでも二つでも意識しながら、大人として成長してほしいと思います。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、小さいころから成長を祈り、見守り、支え、愛情を注いでこられましたお子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様が立派に成長されたこと、心からお喜び申し上げます。中学校の3年間さぞかしご苦勞もあつたこととお察しいたしますが、それだけに喜びもひとしおだと拝察いたします。これからも決して心を離すことなく成長を見守っていただきたいと思います。

この3年間、全教職員が甘やかしではない優しさと、冷たくはない厳しさと責任をもって取り組んでまいりました。保護者の皆様には、これまで、本校の教育活動に深いご理解と力強いご支援・ご協力を賜りましたこと、教職員とともに厚くお礼申し上げます。

それでは、卒業生の皆さん、いよいよ最後となりました。

未来に向かって羽ばたく卒業生の皆さんの歩むこれからの人生が、輝かしいものになりますようお祈りし、式辞といたします。



学校評価アンケート結果

先日、生徒と保護者の方に学校評価を実施しました。結果を学校運営協議会でお知らせし、委員の皆様から様々なご意見をいただきました。この結果については全教職員で共有し、良かった点はさらに伸ばせるように、また、改善が必要な点はできることから取り組んでいきます。結果を右田中学校ホームページに掲載していますのでご覧ください。ご協力いただきありがとうございました。

1年間お世話になりました

今年度は、学校行事や地域行事等多くの行事が、コロナ禍以前と同じように開催されることが多くなり、学校にも地域にも明るい声と活気もどってきた1年間でした。こうして令和5年度も無事終えることができ、地域の皆様及び保護者の方々には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。そして来年度（令和6年度）もよろしく願いいたします。

